

TYSA Tester

ユーザーズマニュアル

TAIYO YUDEN CO.,LTD.

Ver 1.00

概要

TYSA-testerは太陽誘電製のソフト内蔵モジュールを対象としたGUIです。
各コマンドの詳細な仕様については、使用するモジュールの"Data Report"を参照ください。

基本操作

0.アプリケーションの起動

設定ファイル(cmd.ini)と実行ファイル(exe)が同じフォルダに無い場合起動しません。
設定ファイルを書き換えると正しく動作しなくなる恐れがあります。
※Windows 7以前のPC:Net Frame Work 4インストールが必要になります

1.モジュールとの接続

下記手順に沿ってモジュールと接続してください。

The screenshot shows the TYSA-tester GUI interface with the following elements and callouts:

- Callout 1:** ①モジュールが接続されているCOMポートを選択してください。 (Select the COM port where the module is connected.)
- Callout 2:** ②対象のモジュールを選択してください。 (Select the target module.)
- Callout 3:** ③ボーレートを選択してください。 ※アプリケーションを選択すると初期化されるためApplicationを選択後に設定してください。 (Select the baud rate. ※After selecting the application, set the baud rate because it will be initialized.)
- Callout 4:** ④Connectボタンをクリックしてください。 (Click the Connect button.)
- Callout 5 (orange):** ※GUI起動後にモジュールを接続した場合はボタンをクリックしリストを更新してください。 (※After GUI startup, if you connect the module, click the button to update the list.)

The GUI interface includes:

- Com port: COM27
- Application: EYSGCNAWY-VX,EYSGJAWY-VX
- Baudrate: 9600bps
- Connect button
- Send Data input field
- Do not put fixed characters(Start character and New line) checkbox
- Disconnected status indicator
- Cmd information text area
- Log area with save, clear, and Load buttons
- Cmd Tree with Command list
- Send, list_view, Setting, and HTML buttons

2.コマンド送信

2-1. 送信コマンド設定

コマンド送信をご使用の際は、下記内容を参照ください。

選択したアプリケーションによってコマンドの内容(Cmd Tree)が変わります

選択したコマンドが"Send Data"の入力欄にコピーされます

コマンドは直接入力することも可能です。
入力した文字数が選択したコマンドの上限を超えると、背景がピンクになります。
上限を超えた状態でも送信は可能です。

コマンドの送信を行います。

チェックを入れると改行コードと共通の先頭文字の付加を行いません

選択したコマンドの説明が表示されます。

無線接続が完了

接続状態及び接続したデバイスのアドレスを表示します

※この接続状態は通信ログから反映しているため、正しい接続状態を示すものではありません。

Log

```
2020/01/29 18:19:50.474 [CR][LF]ACK[CR][LF]
2020/01/29 18:20:11.362 [CR][LF]CON751A6AE680ED[CR][LF]
2020/01/29 18:20:13.006 [CR][LF]ESR0[CR][LF]
2020/01/29 18:20:13.113 [CR][LF]ESR1[CR][LF]
2020/01/29 18:20:13.336 [CR][LF]ESR2[CR][LF]
```

2-2. バイナリデータ送信

バイナリデータを送信するコマンドは以下の形式で記述してください。

※EYSGCNAWY-VX,EYSGJNAWY-VX SENDコマンドのみ

The screenshot shows the TYSA tester software interface. At the top, the 'Com port' is set to COM27, 'Application' is EYSGCNAWY-VX,EYSGJNAWY-VX, and 'Baudrate' is 9600bps. A 'Send Data' field contains the command 'SEND,0000020103'. Below this, a 'Cmd information' box provides details for the 'Transmission Command [Parameter](Binary Data)'. A blue callout box points to the '0000020103' value in the 'Send Data' field and contains the following text:

[Data 記載について]
0000020103
1Byte(16進数表記)
送信するByte数だけ上記内容で記載してください。

The 'Cmd information' box contains the following details:

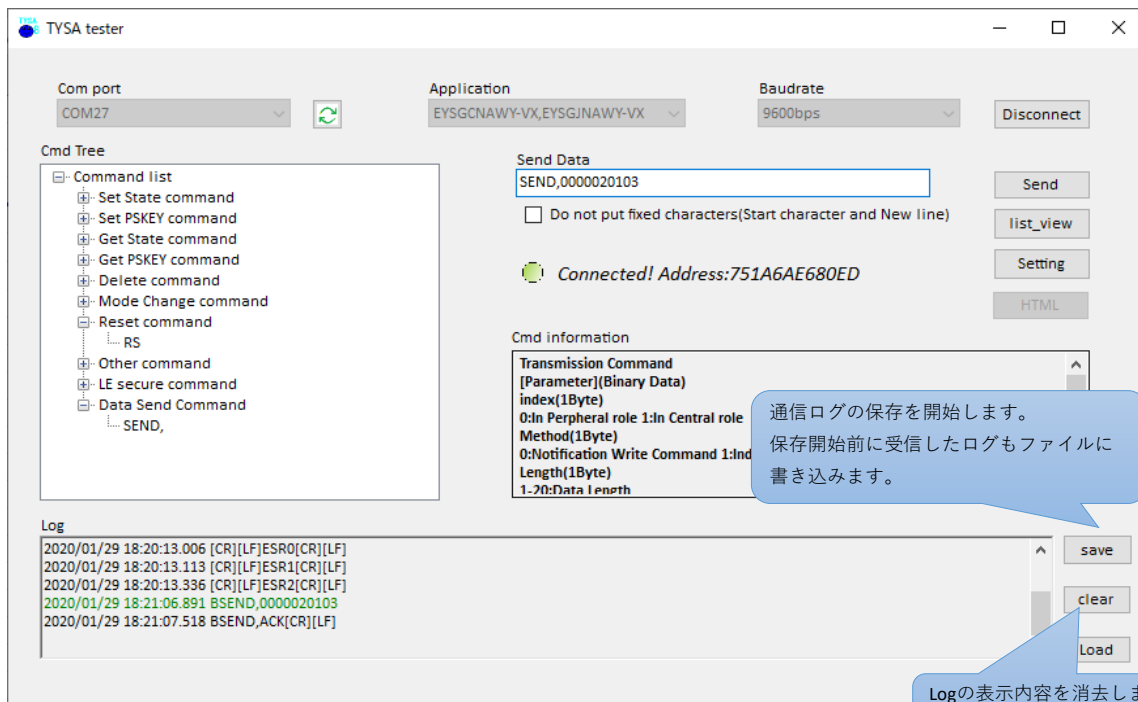
- Transmission Command [Parameter](Binary Data)
- index(1Byte)
- 0:In Peripheral role 1:In Central role
- Method(1Byte)
- 0:Notification Write Command 1:Indication Write Command
- Length(1Byte)
- 1-20:Data Length

The 'Log' section at the bottom shows the following entries:

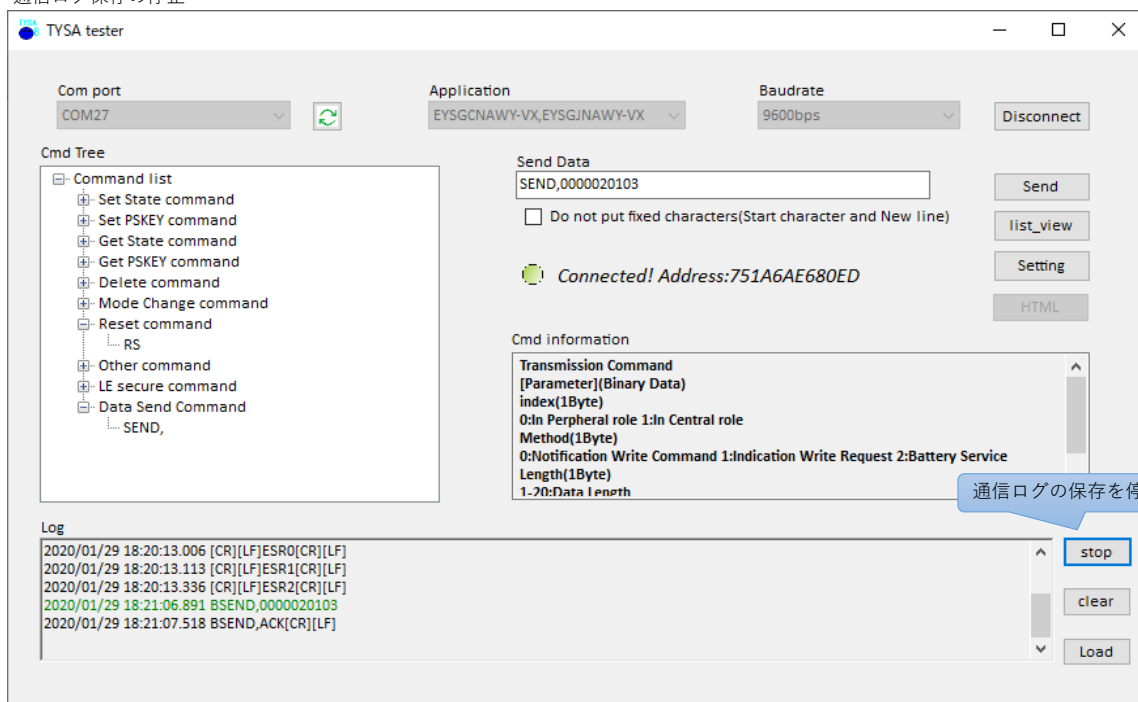
```
2020/01/29 18:20:13.006 [CR][LF]ESR0[CR][LF]
2020/01/29 18:20:13.113 [CR][LF]ESR1[CR][LF]
2020/01/29 18:20:13.336 [CR][LF]ESR2[CR][LF]
2020/01/29 18:21:06.891 BSEND,0000020103
2020/01/29 18:21:07.518 BSEND,ACK[CR][LF]
```

3.通信ログ

通信ログ機能を使用する場合は、下記内容を参考にしてください。



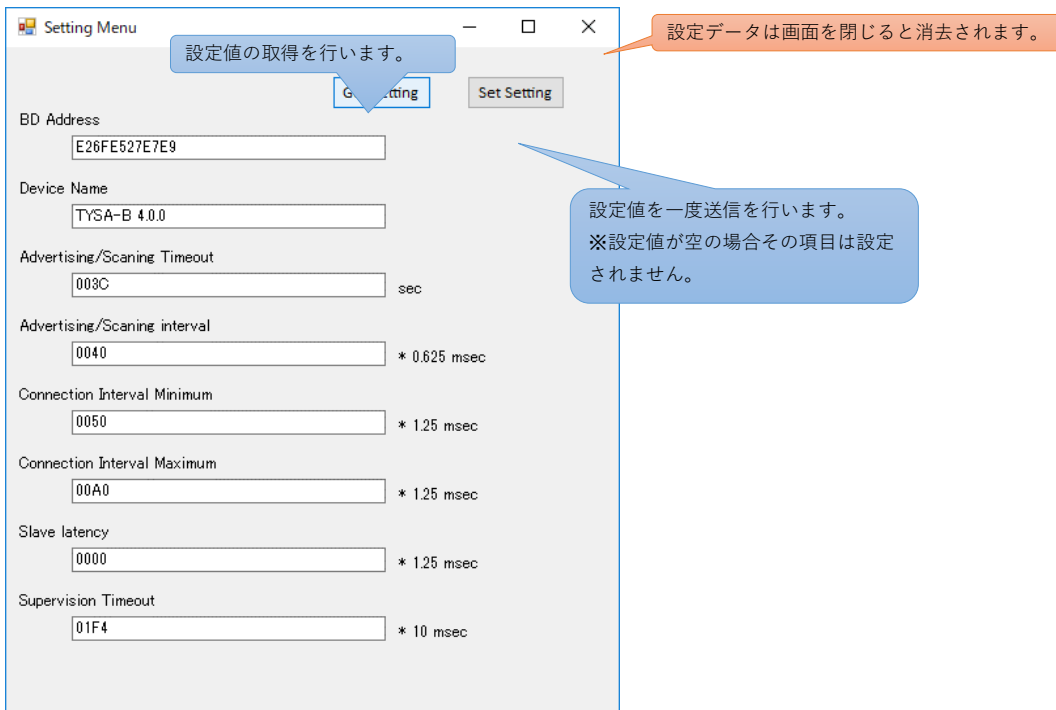
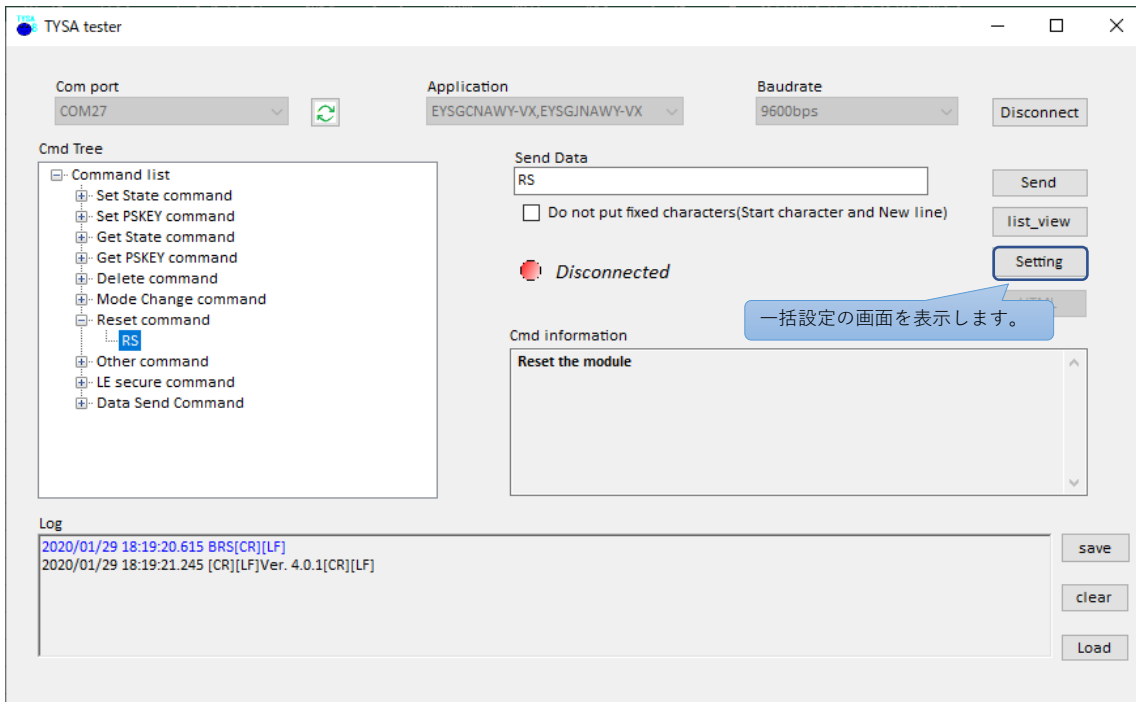
通信ログ保存の停止



4.一括設定機能

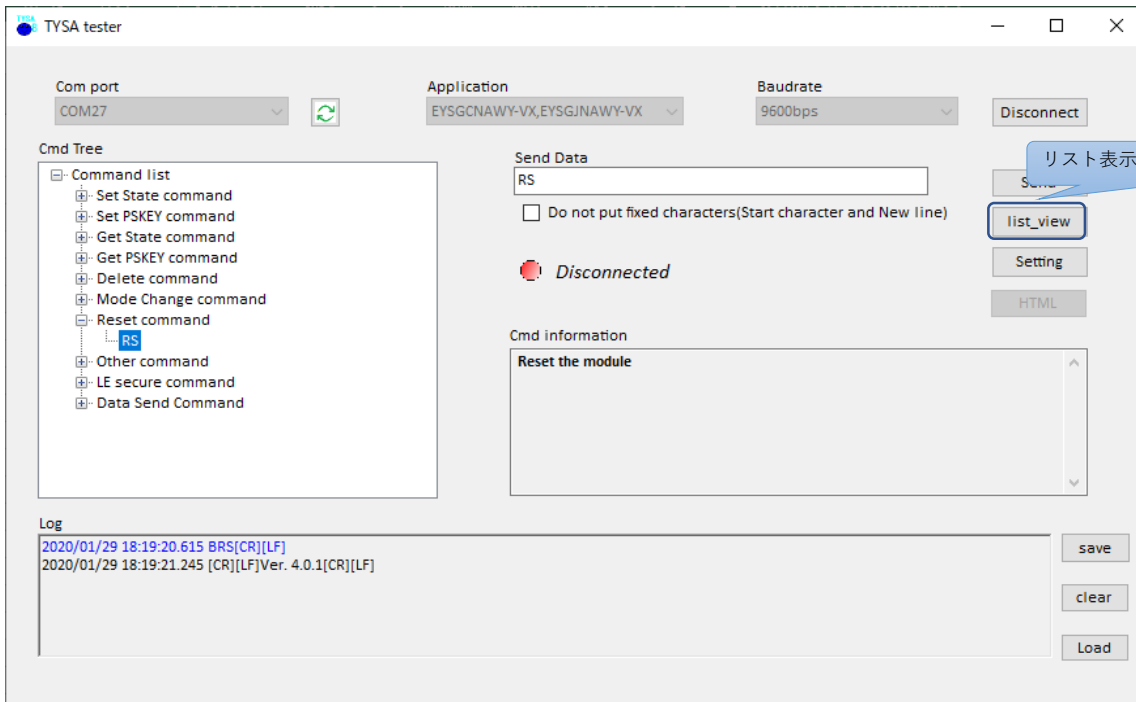
一度に設定データを送信する場合は、以下の内容を参考にご使用ください。

アプリケーションによっては設定を有効にするため、データ送信後にリセットが実行されます。

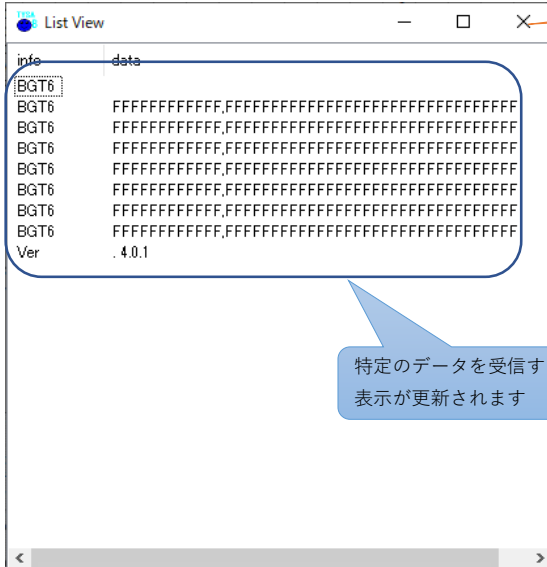


5.受信データリスト表示

特定のデータが通信ログからリストに保存されます。
最後に受信したデータで更新しています。
データを確認するときは、以下の操作を参照してください。



リスト表示画面



6.HTMLデータの表示(W-LANモジュール限定)

W-LANモジュールでHTMLデータの確認する際にご使用ください。

